

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の実施について（説明書）

1 肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌性肺炎は成人肺炎の25%～40%を占め、高齢者での重篤化が問題となっています。肺炎球菌ワクチンを接種することで、肺炎の予防や重症化を防ぐ効果が期待されます。

2 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種対象者

- (1) 満65歳の方（65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで）
- (2) 接種日に満60歳から満64歳までの方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、身体障害者手帳1級を所持している方、またはそれと同等の障害を有し医師の診断書のある方

3 予防接種を受けることができない方

- (1) 明らかに発熱のある方（一般的に体温が37.5度以上の場合を指します。）
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3) 当該予防接種の接種液の成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな方
- (4) その他、医師が不適当な状態と判断した場合

4 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患など基礎疾患がある方
- (2) 過去に予防接種で、接種後2日以内に発熱、全身性発疹などアレルギーを疑う症状がみられた方
- (3) 過去にけいれんを起こしたことがある方
- (4) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方・近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- (5) 過去にこのワクチンの成分または医薬品や他のワクチンでアレルギーを起こしたことのある方
- (6) 血小板減少、凝固障害のある方・抗凝固療法を施行している方

5 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- (1) 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーが起こることがあるので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- (2) 予防接種を受けた日は、入浴しても差し支えありませんが、接種部位を清潔に保ってください。また、いつも通りの生活をし、激しい運動は避けてください。
- (3) 接種後2週間は体調に注意しましょう。
- (4) 予防接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などが起きることがあります。局所の異常反応や体調の変化、高熱、けいれん等の異常な症状が生じた場合には速やかに医師の診察を受けてください。

連絡先 平川市 健康福祉部 子育て健康課 母子保健係
☎44-1111（内線1265） 55-5826（直通）